

ほけんのひろば

桔梗が丘南小学校保健室

おうちの人とよみましょう

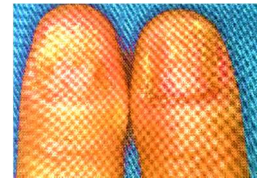
おしゃれをしたことで起こるトラブルを知っていますか？

顔、爪、髪の毛などは皮膚の一部で、身体を守る役割もっている体の臓器です。成長期の子どもと大人では、皮膚の厚さや、体を守る仕組みも大きく違います。そのため子どもが使うと体にトラブルを引き起こすことがあります。

爪

◇マニキュアにより爪が変形したり縦に割れたりすることがあります。除光液の成分もからだにとってよくないものと言われています。

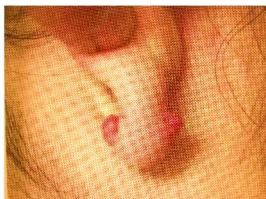
◇病気にかかっている時に、爪に病気のサインが出る場合があります。病気の早期発見につながります。また、保健室で、からだの状態を知る時に血中酸素濃度（爪の血液循環）を測ることがあります。その時に、マニキュアをしていると正しく測ることができません。



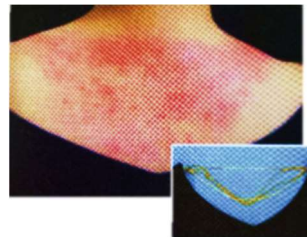
マニキュアのベースコートでかぶれてしまった爪

耳

穴を開けた時に傷ができるとそこから細菌に感染して化膿し傷跡として残ります。また、金属に触れる時間が長くなれば、金属アレルギーを発症するリスクが高まります。一度アレルギーを発症すると、原因となる金属を避けて生活しなければならないこともあります。



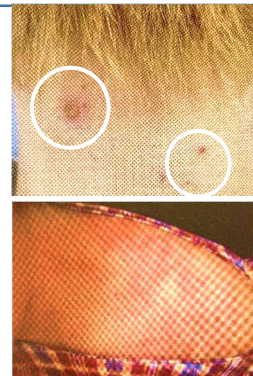
ピアスケロイド
ピアスの穴から細菌が入り傷口やその周りが大きく腫れあがっています。



アクセサリーに使用されていた金属成分が汗によって反応しかぶれを起こしている。

かみぞめ

髪を染めるということは、作られた科学物質を髪に塗り付けることであり、その成分が頭皮に付くことによりトラブルを引き起こしアレルギー反応を起こすと頭皮が赤くなり、かゆくなります。浸出液が出たり、頭皮がむけてしまったりすることもあります。
◇頭皮にある毛細血管から髪の毛へ栄養を運んだり老廃物の排出をしたりしています。



市販の脱色剤の影響で、皮膚が溶けて傷になってしまっています。

ヘアカラーの薬剤で、体までアレルギー反応が出てかぶれています。